



(ひかみちゃん)

ほだかの里だより



(ほだかくん)

—大高歴史の会会報—第52号

令和6年(2024) 1 月発行(冬号)

「ひかみちゃん」「ほだかくん」は、大高在住のイラストレーター大橋由起子さん作成の「大高歴史の会」のキャラクターです。大高は、昔々、「火上(か)の里」、または、「火高(か)の里」と呼ばれていました。

第52号 目 次

歴史に学ぶ年表と令和の風土記を作ってみる	大高歴史の会の歩み・大高の行事催事		P 5
... .. 丸山忠之	P1~3		
大高のできごとあれこれ.....		P 4	大高緑地の四季Ⅳ 冬の景色 ... 山口初宏 ... P 6

歴史に学ぶ年表と令和の大高風土記を作ってみる

丸山 忠之

1 はじめに

今から約5000年前の BC (紀元前) 3000年、新石器時代にはいり程なく縄文文化の走りが始まった。このころは先史時代と言われ BC1000年頃になると母系社会である氏族社会が出現した。新しい世紀(AD 西暦 元年)頃は、時代は縄文時代に代わって定住、稲作や鉄の使用が始まり弥生時代と言われ劇的な変化の時代であった。

新しい時代は年表をよく見ると約300年ごとに

社会的、構造的変化(脱皮)をしていることが解る。

その2000年の年表を追ってみると(2000年÷300年)現在に変化の7回目に当たる。(1900年~2100年)今の世紀は大きな変化に当たり、その区切りの残り日数は77年で次の新世紀2200年に移ってゆく。

どんなに優れた組織や制度でも、せいぜい300年間もつのが限度であることを物語っている。律令制や徳川幕府(鎖国)も例外ではなかった。



大高の猩々(ええ猩々)



大高菜

2 年代表

300年ごとの年代と主なできごとを下表に示してみる。

年 代	時 代	主 な で き ご と
BC3000	新石器	採集 石鏃(せきぞく:飛び道具)
1000	縄文文化	狩猟 漁撈 土器
AD1~300	弥 生	邪馬台国卑弥呼、魏国遣使239 大和統一 古墳文化
600	飛 鳥	仏教渡来538 聖徳太子摂政593 大化の改新645
900	奈良・平安	大宝律令701 平城京遷都710 平安京遷都798
1200	平安・鎌倉	道長太政大臣1017 蒙古襲来1251 1274
1500	室町・江戸	応仁の乱1467 桶狭間の戦い1560 このころ下剋上
1800	江戸・明治	関ヶ原の戦い1600 徳川幕府1603 大政奉還1867
2100	明治・現代	日露戦争1904 ポツダム宣言1945 昭和天皇1989没

3 歴史に学ぶ

歴史に学ぶとはよく聞く言葉であるがここでは国史を指していると思う。しかしこの国の国史は政治と政変にかなり片寄った歴史であると思う。政治のほかにも経済、思想、哲学、芸術、文学など重要な分野がある。国史に対する郷土史、(地方誌)は重要である。特に各地に広がる地域の風俗、習慣、神話、伝説、民俗)など各地ごとの地域の宝として保護し地方ごとの文化として大切にしたい。

4 風土記とは

大化の改新から約 50 年、奈良時代のはじめ古事記、(太安万呂 712 年) 風土記(713 年) 日本書紀(舎人親王 720 年)が編纂された。中で風土記と日本書紀は元明天皇(天智天皇の妹)詔(みことのり)によって撰上(せんじょう)された。

大化の改新がめざした律令国家体制も整った。この時期の官制の史書に風土記が含まれていることは注目に値する。

また、編集に漢字採用をしたことなど対外事情、

特に中国を意識していることが当時の対外情勢を物語っている。

風土記とは現代言葉で言えば、国勢調査である。歴史の先見性を高く評価したい。

5 風土記の内容は次の 5 項目

1) 一国郡の名 (好字・二文字)

好字とは良い意味を持つ(縁起の良い)漢字
二文字とは地名の表記を統一して漢字二文で表すこと

2) 産物 名産品

3) 地形や土地の肥沃の状態

地勢 水陸 気候 生物 人口 都市
産業 交通 政治 土地の様子

4) 地名の起源

5) 伝えられている旧聞 異事 (習俗 伝説)

現在残っている原型をとどめる風土記は出雲風土記(完全)、播磨風土記(一部欠落)は残っているが他の多くは原型がなく逸文(引用文)で確認するのみである。



← どんと焼き



→ 太々神楽

6 大高の現代の風土記

1) 5項目

2) 大高風土記を作成してみる

7 大高風土記2023採用リスト

- 1) 寝覚めの里(神話) 斎山古墳・斎山稻荷社 込高新田(海の干拓) 巳新田(海の干拓)
寅新田(海の干拓) 氷上姉子神社(熱田神宮) 御田植祭
久米家墓地(奥津城) 石神遺跡 朝苧社(織物 朝鮮半島) 春江院 狩野永秀描く「しらさぎ」
大高城 秋葉社 町屋川八幡社 大高駅



氷上姉子神社



御田植祭



春江院

- 2) 大高川 酒蔵のある町 薬師寺 西口地藏 観音寺古井戸 東昌寺 海岸寺
田中の神明社 碑石公園 竜宮社 旧日紡大高工場(森の里団地)

- 3) 明忠院 鷲津砦跡 丸根砦跡 大浜街道 下村の神明社 山神社(鞘堂^{きやどう})

- 4) 二文字 火高→大高 伊勢湾の潮流 白子から木曾川沖→知多へ
大高菜(愛知の伝統野菜) 名古屋の平均気温 16 度℃
海岸の浅瀬の泥→肥料 伊吹おろし 冬の景色
猩々 酒の神 酒の街 先人が守った木曾の森林
フアブリダム 大高は海の町 青峰観音町内に3体
大高川の橋 6 脚 丸根の陸橋
大高小学校 明治の教科書 大星橋 大高～星崎の防災橋
名四国道(高速道路) 神道の墓地(奥津城おくつき)
愛知の保育ここに始まる 戦前の奉安殿 両陛下のご真影と勅語
余延年と江明公園 大高の石碑



← 大星橋

→ 名四国道



(完)

＜大高歴史の会のあゆみ＞ 〔令和5年（2023）10月～12月〕

＜例会＞ [第2・第4月曜日 9:30～12:00 例会(勉強会)を八幡社参集所で開催]

- 第307回（10/9）ナゴヤ歴史探検 P80～81 初の普通選挙と民衆の動き
ほだかの里だより第17号
P1～2 ＜大高・なつかしのあの辺り＞（紺屋町小路）
- 第308回（10/23）ほだかの里だより第17号
P2～4 ＜大高・なつかしのあの辺り＞（紺屋町小路）続き
P5～8 『木』の文化」考
- 第309回（11/13）ブラックシアター実演
- 第310回（11/27）ほだかの里だより第17号
P9 ＜大高のできごと あれこれ＞ [平成27年（2015）1～3月]
P10 ＜大高歴史の会のあゆみ＞ [平成27年（2015）1～3月]
P11 大高の歴史的石造物を訪ねて [第17回] 大高町道路元標
P12 まちかど案内板の紹介 [第13回 新町西口地藏尊]
ナゴヤ歴史探検 P2～83 「大正の民衆運動」
- 第310回（12/11）ほだかの里だより第18号
P1～4 ＜大高・なつかしのあの辺り＞（伊賀殿・小坂編）
P5～7 壺鈴の「古鈴」から
- 第311回（12/25）大高史料館年末大掃除、桶狭間の戦い「もう一つ戦場大高」研修

＜その他の活動＞ [会のあれこれ情報]

「会報第51号(令和5年秋号)発行」(10月6日)

約700部、印刷、於 緑区社会福祉協議会。丁合は10月9日に実施

「まちかど案内板の更新」(10月29日) 経年劣化により読み難くなったため下記2件を更新

「山神社」、田中神明社」これにより全ての案内板の更新を終了した。

「野外学習」(11月4日) 笠寺観音、一里塚、見晴台散策 4名

(12月1日) 四間道、円頓寺界隈 8名 どちらも好天に恵まれ有意義な学習であった。



笠寺一里塚



四間道（浅間神社）

＜ガイド実績＞ 史跡・町並み散策ガイド依頼受付窓口： 深谷篤 090-8952-8610

10月1日（日）大高祭り散策 大高駅、長寿寺、八幡社 5名（深、）

10月6日（金）大高散策、阿久比の人 5名（深、）

11月1日（水）まち歩き文化祭「大高史跡めぐり」14名（深）

11月16日（木）大高城跡と2砦巡り散策会 28名（大磯、初）

11月18日（土）大高城跡、丸根砦跡 10名（深）

11月23日（木）大高学区ふれあいウォーキング 34名（深、大磯、初）

12月10日（日）大高城跡散策 桑名歴史案内 Gr 35名（深、大磯）

ガイド実績（10 - 12月） 7件 141 名

<大高のできごと あれこれ>
[令和5年(2023)10月～12月]

「大高まつり」 10月1日(日)本楽

曇天の中、4年振りに山車巡行が行われた。午前中は辻秋葉社～津島社～天神～大浜街道～八幡社、午後は辻秋葉社～本町～新町～氷上姉子神社、復路は逆コースで辻秋葉社、解散。生憎の天気で“ええ狸々”は出番がなかった。



長寿寺前の巡行

「みどり・シティ・フェスティバル2023」

10月23日(土)

今年は区政60周年の記念大会。青空の下、通称、区民まつりが大高緑地にて開催された。区内の官公署・団体がステージやブースで独自の出し物を披露し大勢の人出で賑わった。

大高地域観光推進協議会も出店し物販やPRを繰り広げた。



河村市長来訪(大高ブースにて)

「コミセン祭り」 11月18、19日(土、日)

大高地域コミセン祭りが2日間に執り行われた。今年は4年振りにステージで演舞も復活して大いに盛り上がった。

階段踊り場や2階の大高歴史の会・大高地域観光推進協議会のコーナーでは昔の写真や歴史物展示、他の各室では絵手紙、手編み竹細工、書学等の展示が行われた。



懐かしい昔の写真

「サムライ・ニンジャ フェスティバル 2023」

(11月19日)(日)10時～

秋の恒例行事が大高緑地にて行われた。当日は遠くは仙台、熊本、信州上田、近くは名古屋、清州の武将隊や忍者集団、甲冑隊が大集合。

2か所の特設ステージでは武者行列の後、演舞、歌、トークで盛り上がっていた。

「歴史謎解きゲーム」10月1日(日)～12月24日(日)

若き日の信長・家康の秘密と称して(公財)名古屋コンベンションビューロー主催の謎解きを開催。

なごや歴史満喫バスや交通機関を使って謎解きすると攻略賞として御城印またはカイロをゲットできる。

問題用紙は大高観光案内所、桶狭間古戦場観光案内所、名古屋市観光案内所にて受取りできるもの。

難問ながら好評の内に終了した。

大高の行事予定(2024年1月～2024年4月)

- 12月31日(日)～1月1日(月) 各寺社越年行事、ただし振舞い酒は中止?
- 1月8日(月)10時～成人式 大高3区合同、大高中学校
- 1月14日(木)6:00～10:00 どんど焼き(左義長) 八幡社、田中神明社
- 2月25日(日)10:00～ 酒蔵開き、散策会
- 3月3日(日) 長寿寺高蔵坊稲荷大祭、
- 3月15日(金) 春江院弁財天大祭
- 3月31日(日)14:00～ 太々神楽 氷上姉子神社
- 4月8日(月) 花まつり 長寿寺、薬師寺、春江院

注)上記行事は主催者の都合により変更の可能性あり

大高緑地の四季Ⅳ 〔冬の景色〕

山口初宏

緑地の冬景色は日本庭園の雪吊りから始まる。12月になると庭園の池の中や外にそびえる6本の木に見事な雪吊りが現れる。

雪吊りは金沢の兼六園が有名であるが、それにも劣らない冬の風物詩である。

雪が待ち遠しい心望にも駆られる。



雪吊り

また、琵琶ヶ池の南西側、道路脇には梅檀^{せんだん}が、たくさんのクリーム色の実をつけて佇んでいる。



梅檀の木

中央児童園の一角では四季桜の大木が満開になっている。冬場の緑地は花が少なく何となく寂しさを覚える中で、ひときわ輝いている。



四季桜

1月も20日を過ぎると梅林には梅が咲き始める。白梅も紅梅もほぼ同じ時期に開花する。



梅林の紅梅 後方に雪吊り

このほかに外周路に街路樹として植えられているモミジバフウの木が一斉に落葉して寒そうな姿に変身している。

また、園内では秋に華やかだった紅葉が全て散ってしまつて冬の雰囲気醸しだしている。

説明ガイドさん & 新規会員 募集中です！

連絡先（052）623-2307

大高の歴史を学び伝える

大高歴史の会 会報 第52号 2024年1月

[平成21年(2009)4月発足]

連絡先（代表）：山口 初宏

〒459-8001

名古屋市緑区大高町字天神4-4

052-623-2307

散策関係 担当：深谷 篤

090-8952-8610

史料関係：丸山 忠之

052-621-7376

会報は年4回発行の予定です。

（冬1月、春4月、夏7月、秋10月）

会報バックナンバーご希望の方は上記連絡先へお問い合わせ願います

（本号の編集は山口初宏が担当しました）